

# 高校国語において多角的に読み深めることができる生徒の育成

——「物語類型」を生かした「読解ダイアグラム」とICTポートフォリオの活用を通して——

特別研修員 国語 鈴木 宏明（高等学校教諭）

## 生徒の実態

- ・自分の意見に強いこだわりをもつ。
- ・多角的に物事を捉えるのが得意ではない。

## 社会のニーズ

多角的に状況を捉えていく力

### 手立て① 「物語類型」を生かした「読解ダイアグラム」

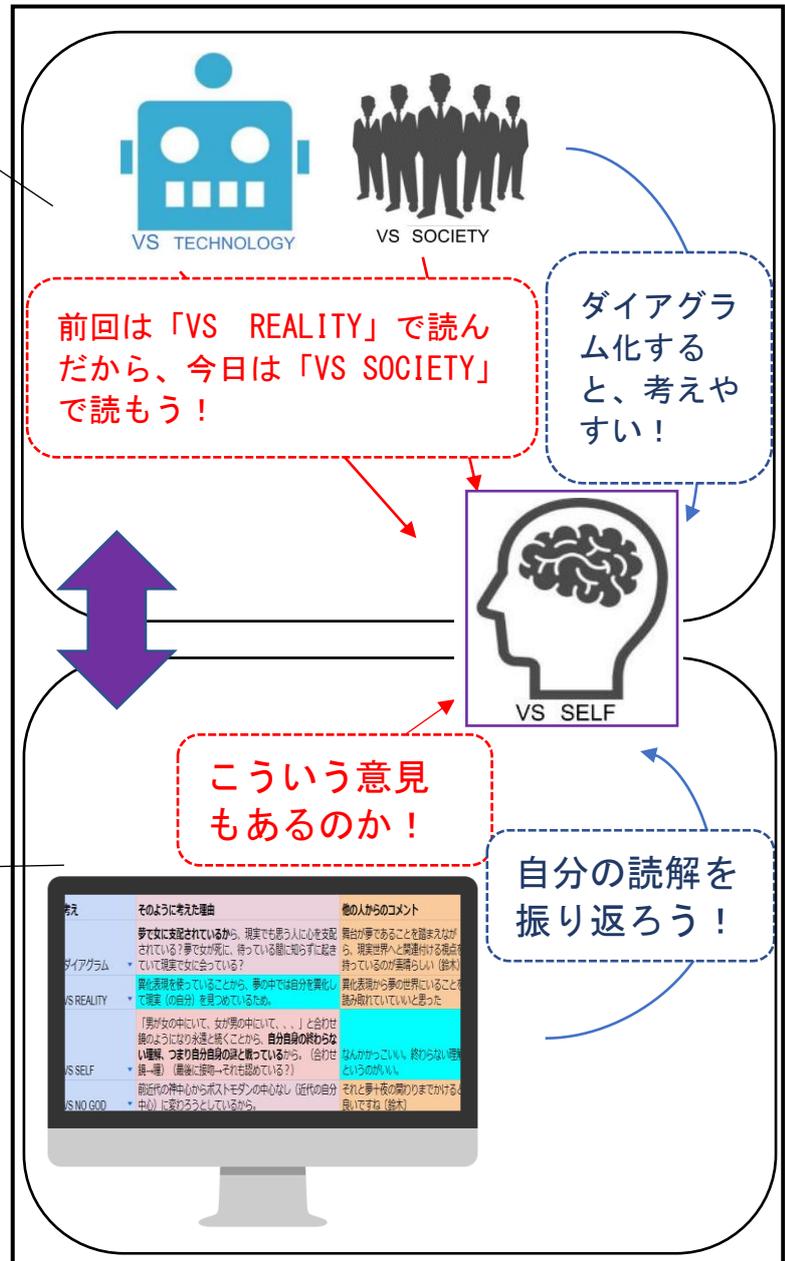
- (1)「物語類型」を利用し、「社会」「科学技術」など、**様々な視点から物語を読み解いていく。**
- (2)抽象化された記号を用いて自分の読解を表現する「読解ダイアグラム」の活動を通じて、**自身の読みの構築をしていく。**

多角的に読み深める

### 手立て② ICTポートフォリオの活用

- (1)「いいね」機能やコメント機能の付いたポートフォリオを活用していくことで、**他者の様々な意見に触れる。**
- (2)振り返りを蓄積していくことで、**自身の読解を深める。**

## この研究を読解ダイアグラム風に表示してみました！



## 成果

- 生徒たちは物語類型を通して様々な視点から作品を分析することができていた。また、読解ダイアグラムを作成することで、生徒はそれぞれの読解を展開していた。
- ICTポートフォリオは、「いいね」機能とコメント機能を通して他者との意見交流を促進させ、視野を広げていた。生徒は他者の意見をよく読み、自分の意見へと活用していた。

## 課題

- 他者に対するコメントには、まだまだ生徒への指導が必要である。コメントは「よかった」や「すごい」などで、とどまっていることが多い。
- ICTポートフォリオと読解ダイアグラムは他者と自分の意見を比較しやすい一方で、そのまま他者の意見を真似してしまうこともあった。